



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

第 60 回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

2024 年 5 月 29 日（水）18:30～20:30

講師： 山根 純佳 さん

新自由主義社会におけるケア 女性間の経験の共通性・格差・連続性



「ケアの危機」の時代に、フェミニズムはいかにケアを論じるべきだろうか。新自由主義下では女性は自己の就労とケアのマネジメント、すなわち自己の生と他者の生への「二重の責任」を負わされている。これは女性の共通の経験と言える。一方で福祉の市場化は、資源の少ない層がケアすることをより困難にし、階層や世代による女性間の格差を拡大する。本報告では、ケアをめぐる資源配分の不均衡を概念化することで、「ケア責任のジェンダー化」がもたらす女性間の経験の連続性と断絶を可視化する「100%（みんな）のためのフェミニズム」のあり方を検討する。

今回のレクチャーは対面開催です。ふるってご参加ください。予約は不要です。

◆講師紹介◆

実践女子大学 人間社会学部 教授。1976 年神奈川県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科修了 社会学（博士）。著書に『産む産まないは女の権利かーフェミニズムとリベラリズム』（2010）『なぜ女性はケア労働するのかー性別分業の再生産と変動』（2010）共に勁草書房、「新自由主義とケア労働」『大原社会問題研究所雑誌』771 号（2023）など。

●司会：佐藤文香さん（社会学研究科・教授）

●会場：一橋大学国立東キャンパスマーキュリータワー5 階 3509 室

●主催 一橋大学大学院社会学研究科ジェンダー社会科学研究センター(cgrass@soc.hit-u.ac.jp)